

② 3団体連携で環境学習を実施する

# Water<sup>3</sup>プロジェクト ～水を感じ、学び、守ろう～

団体名 NPO紫波みらい研究所(代表団体)、  
川を知る会、東根四分の一川防災対策協議会

主な活動地域 岩手県紫波町内



## 目的

紫波町は、紫波の環境を100年後の子供たちによりよい姿で残し伝えていくという「新世紀未来宣言」を掲げている。この宣言の一翼を担う目的で、町内で水に関連した環境体験や学習を行っている主だった3団体が連携して、環境学習や体験の場を作る。活動によって、地域の美化、自然環境の保全、さらに世代間、地域、組織間の交流も図る。

## 実施内容

3つのテーマ、水を学ぶ、感じる、水の恵みを知り守る、にそって各々1回ずつ、合計3回の講座を開設し、さらにフィールド活動も各団体の得意分野を活かして3ヶ所で実施する。学ぶフィールド活動は「環境探検 水と遊ぼう!」と題して、片寄地区で開催し、沢登りと自然観察を行う。フィールド活動の2回目は、「山王海ダムと親しむ湖水フォーラム」で、「川を知る会」が所有する木造和船「ごんべえ丸」やラフト艇、カヌーなどを利用して山王海ダムの湖面からの観察をはじめ、様々な体験学習をして、水を感じる。第3回の水の恵みを知り守るフィールド活動は、水分神社を舞台に、湧水見学、周辺の環境散策、清掃活動を行う。

## ボランティアに参加しよう!

★第1回 水を学ぶ講座	2010年6~7月
★第2回 水を感じる講座	2010年6~7月
★第3回 水の恵みを守る講座	2010年6~7月
★環境体験 水と遊ぼう!	2010年 8月
★山王海ダムと親しむ湖水フォーラム	2010年 9月
★環境体験 水は大切な資源だね!	2010年 9月



紫波中央駅横の活動事務所でのインタビュー風景



桟橋設置予定の山王海ダム



全長12mの『ごんべえ丸』

## 選考委員のひとこと

水のおいしい町だが、冬の寒さは格別。助成金で桟橋が作られる予定の山王海ダムも、冬場は凍るという。初めての3団体連携事業とあって、何が起こるかわからない不安もある。しかし、チャレンジ精神はひしひしと感じられ、経過を観察していきたいと強く思った。 TOTO ハイリビング Mさん記